

## 4. 契 約 参 考 図 書

### (率計上項目及び概算数量、図面)

- ・ 契約参考図書は、率計上項目や概算数量等を提示する書類であり、設計書第 1 条にいう設計図書ではない。（請負契約上拘束力はない。）
- ・ 当該内容は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は受け付けない。

# R 7 成田舗装工事（4. 契約参考図書）

## 図 面 目 録

番号	図 面 名 称	備考
1	率計上項目数量総括表（1）	
2	率計上項目数量総括表（2）	
3	率計上項目平面図（1）	
4	率計上項目平面図（2）	
5	コンクリートブロック張工・基礎工詳細図	
6	管路付帯工一般図（1）	
7	管路付帯工一般図（2）	
8	構造物等取壊し工平面図（1）	
9	構造物等取壊し工平面図（2）	
10	構造物等取壊し工詳細図（1）	
11	構造物等取壊し工詳細図（2）	
12	構造物等取壊し工詳細図（3）	
13	防草対策A詳細図	
14	防草対策B詳細図	
15	止水目地工詳細図	
16	標識サポート工詳細図	
17	撤去工平面図（1）	
18	撤去工平面図（2）	
19	撤去工詳細図	
20	仮設防護柵一般図（1）	
21	仮設防護柵一般図（2）	
22	仮設防護柵一般図（3）	
23	渋滞対策工詳細図（1）	
24	渋滞対策工詳細図（2）	
25	横断工 A 一般図	
26		
27		
28		
29		
30		
31		

番号	図 面 名 称	備考
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		
46		
47		
48		
49		
50		
51		
52		
53		
54		
55		
56		
57		
58		
59		
60		
61		
62		

率計上項目数量総括表（１）

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
項目番号	4 - (15)	4 - (17)	18 - (17)	18 - (17)	18 - (17)	18 - (17)	18 - (17)	18 - (17)	18 - (17)	18 - (17)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)
項目・名称	コンクリートブロック塀工	基礎工	構造物等取壊し工	構造物等取壊し工	構造物等取壊し工	構造物等取壊し工	構造物等取壊し工	構造物等取壊し工	構造物等取壊し工	構造物等取壊し工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工
	コンクリートブロック張り(空)控0mmA	コンクリート基礎工A(夜)	コンクリート構造物取壊し(Type A)(夜)	コンクリート構造物取壊し(Type A)(夜)	コンクリート構造物取壊し(Type B)(夜)	コンクリート構造物取壊し(Type B)(夜)	コンクリート構造物取壊し(Type B)(夜)	アスファルト舗装取壊し(Type A)(夜)	アスファルト舗装取壊し(Type A)(夜)	アスファルト舗装取壊し(Type A)(夜)	MK-C	MK-C(夜)	ダクトロFP30(1)	ダクトロFP30(2)	ダクトロFP30(4)	ダクトロFP40(2)	ダクトロFP40(3)	ダクトロFP40(4)	ダクトロFP40(6)	ダクトロFP50(16)	ダクトロFP80(2)50(4)	ダクトロFP80(2)50(10)	ダクトロFP80(2)50(12)
単位	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所
数量	35.6	17.8	55.3	45.8	44.6	67.8	15.5	22.6	109.4	27.0	26.0	27.0	1.0	2.0	4.0	12.0	2.0	2.0	3.0	1.0	2.0	1.0	1.0

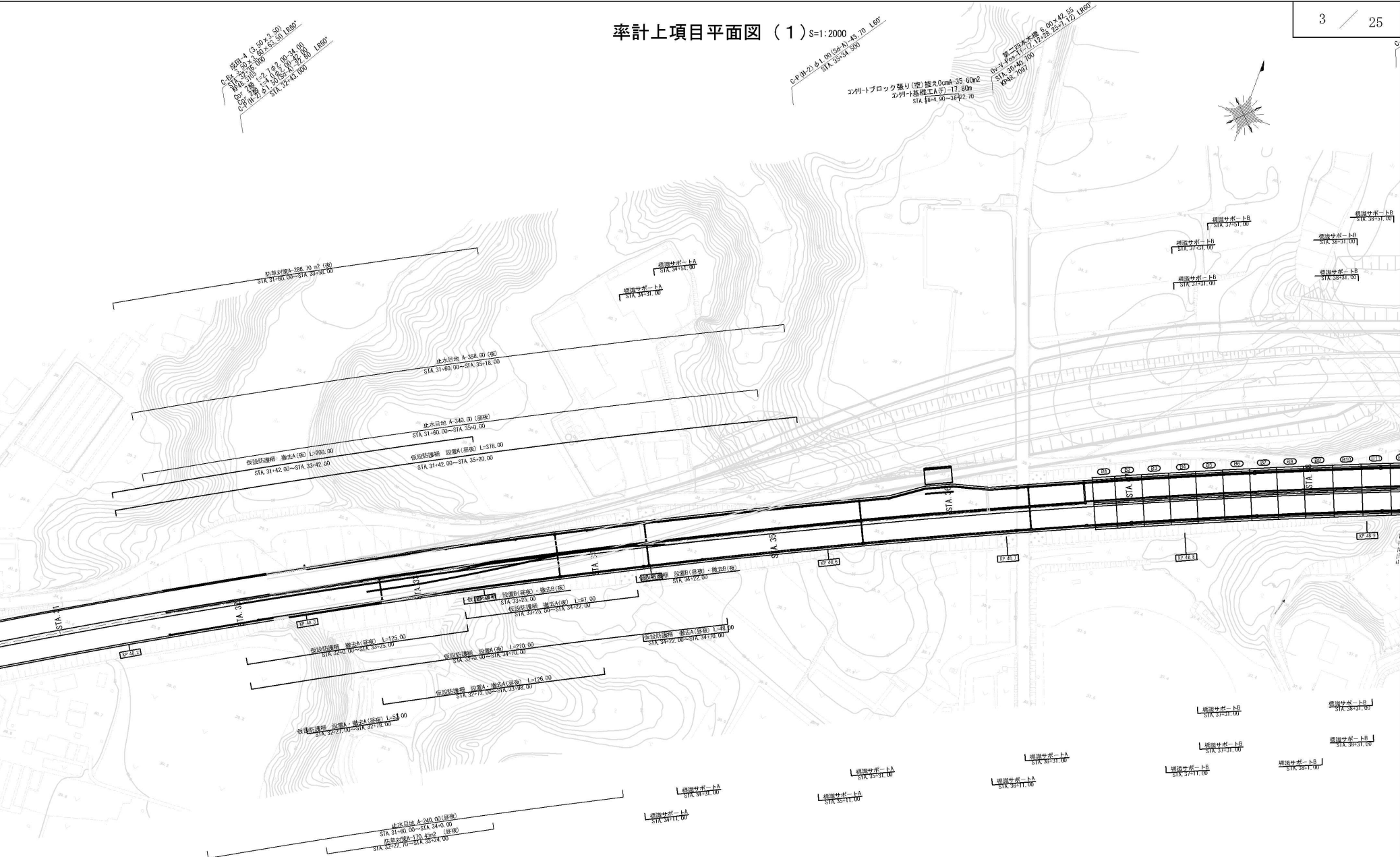
番号	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
項目番号	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	16 - (13)	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )
項目・名称	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	管路付帯工	止水目地工	止水目地工	防草対策工	防草対策工	防草対策工	防草対策工	横断サポート工	横断サポート工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工
	ダクトロPS50(4)	ダクトロPS50(6)	ダクトロTRF(200)	ダクトロTRF(400)	ダクトロCP54(4)	ダクトロCP54(6)	ダクトロCP54(8)	ダクトロCP54(10)	ダクトロT1-FP80(2)50(4)	ダクトロT1-FP80(2)50(10)	ダクトロT1-FP80(2)50(12)	止水目地A(夜)	止水目地A(昼夜)	防草対策A(夜)	防草対策A(昼夜)	防草対策B	防草対策B(夜)	横断サポートA	横断サポートB	P(Po-B)-φ0.40(Sd-B)(昼夜)	P(Vu)-φ0.40(昼夜)	Dis-PS1-φ0.30(SP)	Gr-SB-1B(夜)
単位	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	m	m	m	m	箇所	箇所	箇所	箇所	m	m	m	m
数量	8.0	6.0	1.0	1.0	8.0	4.0	20.0	28.0	2.0	1.0	1.0	668.0	1,100.0	286.7	170.5	24.0	363.0	18.0	24.0	13.7	60.7	38.5	67.2

契約番号	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
番号	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )
項目・名称	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	撤去工	仮設防護柵工	仮設防護柵工	仮設防護柵工
	Gr-SB-1E(夜)	Gr-SB-1E(昼夜)	Gr-SB-2E(夜)	Gr-SB-2E(昼夜)	Gr-SBm-2E(夜)	Gr-SBm-2E(昼夜)	眩光防止板Ai(昼夜)	視線誘導標A1-2	視線誘導標A1-2(夜)	視線誘導標A1-3(夜)	視線誘導標A2-1	視線誘導標A2-3(夜)	視線誘導標A2-3(昼夜)	距離標KP-C1	距離標KP-C2	距離標KP-C2(夜)	距離標KP-C2(昼夜)	防草マット(夜)	防草対策A(夜)	防草対策A(昼夜)	防護柵設置A(夜)	防護柵設置A(昼夜)	防護柵撤去A(夜)
単位	m	m	m	m	m	m	基	基	基	基	基	基	基	枚	枚	枚	枚	m	m	m	m	m	m
数量	26.7	147.1	599.4	771.8	61.9	68.2	121.0	9.0	1.0	2.0	1.0	18.0	24.0	4.0	1.0	4.0	3.0	1,231.9	64.2	177.4	576.0	768.0	388.0

番号	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
項目番号	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )	特 - ( )
項目・名称	仮設防護柵工	仮設防護柵工	仮設防護柵工	仮設防護柵工	渋滞対策工	渋滞対策工	渋滞対策工	渋滞対策工	試掘工	試掘工	根断工
	防護柵撤去A (昼夜)	供用月当たり費 料A	防護柵設置B (昼夜)	防護柵撤去B (夜)	A (設置・撤 去)	A (供用)	B (設置・撤 去)	B (供用)	A	A (夜)	A (夜)
単位	m	m・月	箇所	箇所	箇所	台・日	箇所	台・日	箇所	箇所	m
数量	566.0	4,668.0	4.0	4.0	16.0	696.0	8.0	348.0	15.0	132.0	24.7

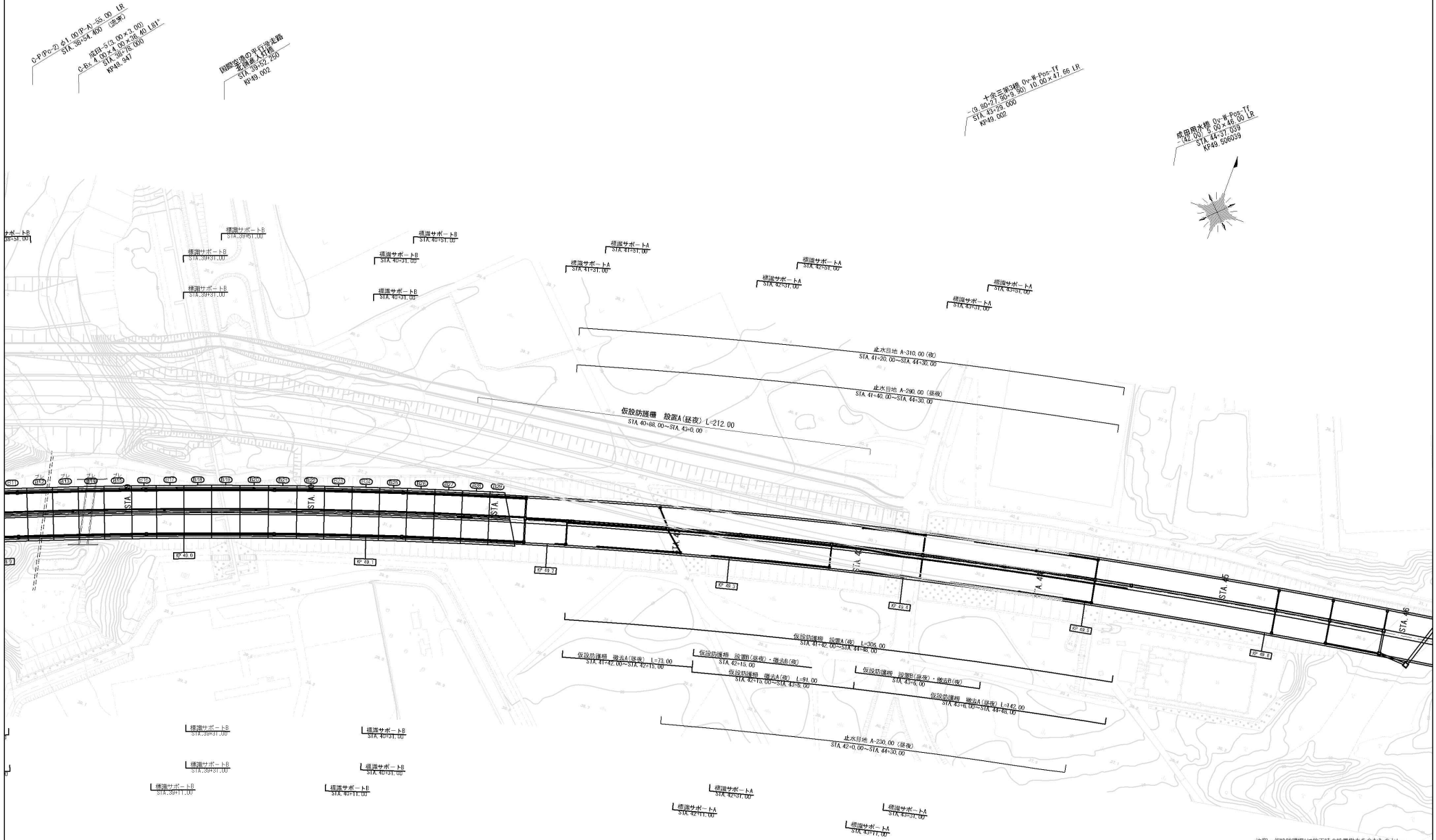


率計上項目平面図（１）S=1:2000



注釈：仮設防護柵は施工時の設置撤去を含むものとし、  
リース契約は工事完了後に成田国際空港へ引き継ぐものとする

東関東自動車道	
R 7 成田 橋 梁 工 事	
図面の種類	率計上項目平面図（１）
縮 尺	S=1:2000 図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉 資 環 事 務 所



注釈：仮設防護柵は施工時の設置撤去を含むものとし、  
リース契約は工事完了後に所定期間空港線へ引き建てるものとする

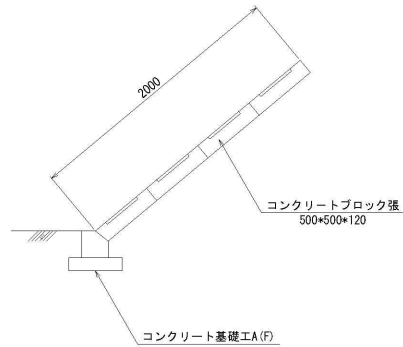
東武東上線 R 7 原田橋梁工事	
図面の種類	率計上項目平面図（2）
縮尺	S=1:2000 図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所

# コンクリートブロック張工・基礎工詳細図

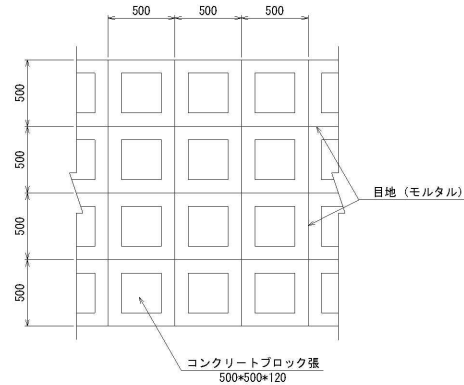
## コンクリートブロック控え 0cm A

### コンクリート基礎工 A (F)

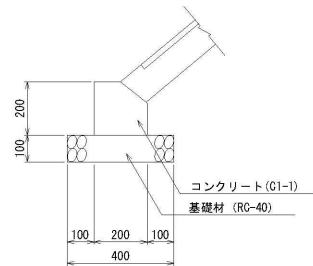
標準断面図 縮尺 1:40



平面図 縮尺 1:40



コンクリート基礎工 A(F) 縮尺 1:20



コンクリート基礎工A(F)

材料表

10m当り

項目	規格・寸法	単位	数量	摘要
コンクリート	C1-1	m3	0.36	
型わく	D	m2	3.20	
基礎材	RC-40	m3	0.40	
掘削		m3	1.20	
埋戻し		m3	0.37	
残土		m3	0.79	

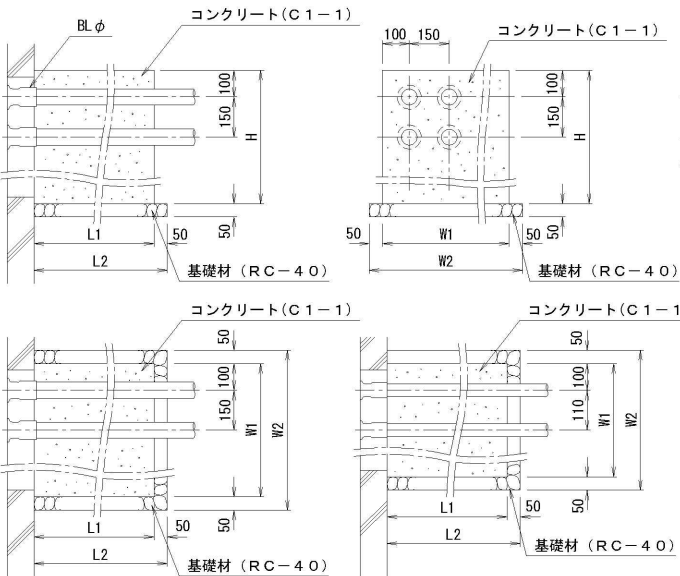
数量表

10m当り

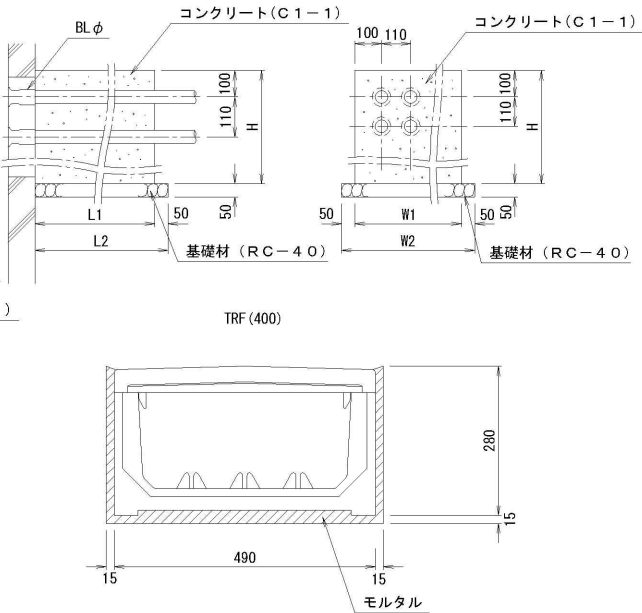
項目	種別	単位	数量	摘要
コンクリートブロック張り(空)控え0cmA	500×500×120	m2	20.0	
コンクリート基礎工A(F)	200×200	m	10.0	

東関東自動車道 R7 成田調子工区			
図面の種類	コンクリートブロック張工・基礎工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

管 呼 径 50mm 以 上



管 呼 径 50mm 未 満



各 部 寸 法 算 出 表

管 種		L1 (mm)	L2 (mm)	W1 (n1≥1) (mm)	W2 (n1≥1) (mm)	H (n2≥1) (mm)	コンクリート C1-1	基礎材 (RC-40)	型枠D
鋼 管	50, 65, 80	450	500	200+150 (n1-1)	300+150 (n1-1)	200+150 (n2-1)	$\frac{W1}{1000} * \frac{H}{1000} * 0.45$	$\frac{W2}{1000} * 0.025$	$(0.9 + \frac{W1}{1000}) * \frac{H}{1000}$
	25			200+110 (n1-1)	300+110 (n1-1)	200+110 (n2-1)			
伸縮継手有場合 ビニル管	54以上	150	200	200+150 (n1-1)	300+150 (n1-1)	200+150 (n2-1)	$\frac{W1}{1000} * \frac{H}{1000} * 0.15$	$\frac{W2}{1000} * 0.01$	$(0.3 + \frac{W1}{1000}) * \frac{H}{1000}$
	54未満			200+110 (n1-1)	300+110 (n1-1)	200+110 (n2-1)			
直埋ケーブル		VE54短管	100	200+100 (n1-1)	300+100 (n1-1)	200+100 (n2-1)	$\frac{W1}{1000} * \frac{H}{1000} * 0.10$	$\frac{W2}{1000} * 0.0075$	$(0.2 + \frac{W1}{1000}) * \frac{H}{1000}$

注 1. 管径の異なるものの同時布設の管間隔は大きいほうの間隔とする。  
2. 表中記号説明  
n : 布設管路条数 1n : 布設幅配列列数但し最大4条迄とする。 2n : 多段布設配列段数

3. ダクト口付近の埋戻しはコンクリートの乾燥後に行うこと。  
4. ベルマウス付近の仕上げはモルタル（１：２）で行うこと  
5. 管が斜め方向より入る場合はベルマウス開口面をハンド  
ホール又はマンホールの内壁面に合わせること。  
6. ベルマウスとビニル電線管との接合は接着剤を用い堅固  
に行うこと。尚鋼管との接合は規定の位置まで挿入する。

材料表 1箇所当たり

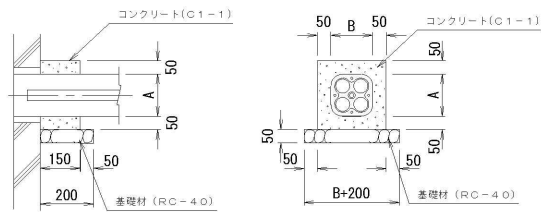
管 種	コンクリート (m3)	基礎材 (RC-40) (m3)	型 枠 (m2)	モルタル (m3)
FP30 (1)	0.006	0.003	0.100	—
FP30 (2)	0.009	0.004	0.122	—
FP30 (4)	0.014	0.004	0.189	—
FP40 (2)	0.009	0.004	0.122	—
FP40 (3)	0.014	0.004	0.189	—
FP40 (4)	0.014	0.004	0.189	—
FP50 (6)	0.020	0.005	0.223	—
FP50 (16)	0.042	0.006	0.440	—
FP80 (2) 50 (4)	0.026	0.006	0.280	—
FP80 (2) 50 (10)	0.049	0.008	0.475	—
FP80 (2) 50 (12)	0.063	0.008	0.618	—
PS50 (4)	0.055	0.011	0.438	—
PS50 (6)	0.079	0.015	0.490	—
TRF (200)	—	—	—	0.001
TRF (400)	—	—	—	0.003
T1-FP80 (2) 50 (4)	0.026	0.006	0.280	—
T1-FP80 (2) 50 (10)	0.049	0.008	0.475	—
T1-FP80 (2) 50 (12)	0.063	0.008	0.618	—

数量表

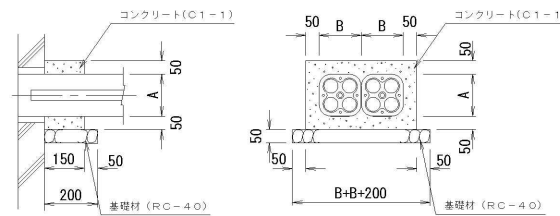
名 称	単 位	数 量	備 考
FP30 (1)	箇所	1.0	
FP30 (2)		2.0	
FP30 (4)		4.0	
FP40 (2)		12.0	
FP40 (3)		2.0	
FP40 (4)		2.0	
FP50 (6)		3.0	
FP50 (16)		1.0	
FP80 (2) 50 (4)		2.0	
FP80 (2) 50 (10)		1.0	
FP80 (2) 50 (12)		1.0	
PS50 (4)		8.0	
PS50 (6)		6.0	
TRF (200)		1.0	
TRF (400)		1.0	
T1-FP80 (2) 50 (4)		2.0	
T1-FP80 (2) 50 (10)		1.0	
T1-FP80 (2) 50 (12)		1.0	

東関東自動車道 R7 原田橋梁工事			
図面の種類	管路付帯工一般図（１）		
縮 尺	図示	図番	図番
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路設計株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

CPφ(4)  
CPφ(6)



CPφ(8)



材料表

1箇所当たり

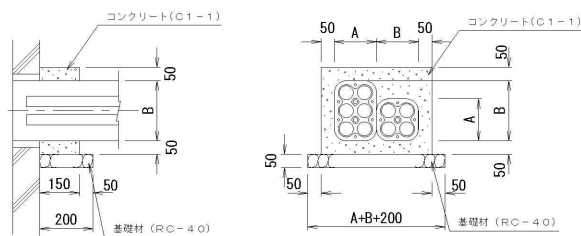
管 種	コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎材 (RC-40) (m <sup>3</sup> )	型 枠 (m <sup>2</sup> )
CP54 (4)	0.042	0.004	0.119
CP54 (6)	0.048	0.004	0.146
CP54 (8)	0.057	0.005	0.135
CP54 (10)	0.075	0.005	0.244

数量表

名称	単位	数量	備考
CP54 (4)	箇所	8.0	
CP54 (6)		4.0	
CP54 (8)		20.0	
CP54 (10)		28.0	

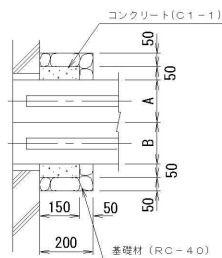
- 注 1 ダクト口付近の埋戻しはコンクリートの乾燥後に行うこと。  
2 ハンドホール内の仕上げはモルタル（１：２）で行うこと。

CPφ(10)



## ユニット寸法

ユニット種類	A	B
CP54 (4)	158	158
CP54 (6)	158	226

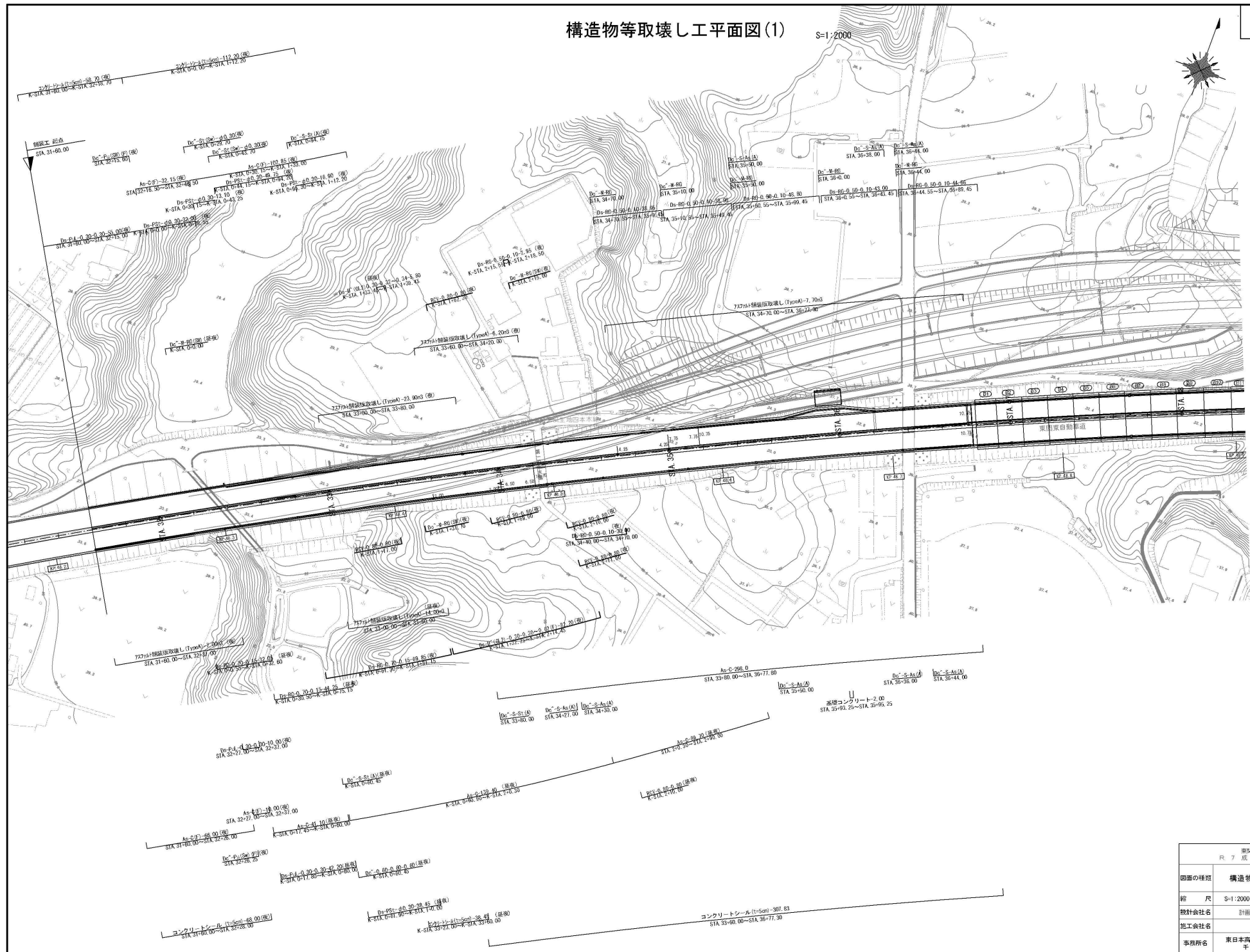


東関東自動車道 R7 成田調養工事			
図面の種類	管路付帯一般図（２）		
縮 尺	図示	図番番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

# 構造物等取壊し工平面図(1)

S=1:2000

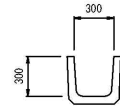
8 / 25



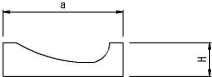
東武東上線 R 7 東武 建設 工事	
図面の種類	構造物等取壊し工平面図(1)
縮 尺	S=1:2000 図面番号
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所



Ds-PuL-0.30-0.30

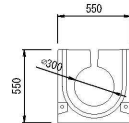


Ds-RG

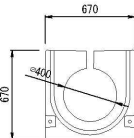


Ds-PSt

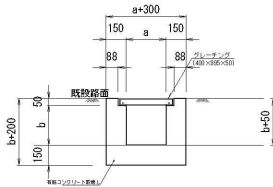
Ds-PSt-φ0.30



Ds-PSt-φ0.40

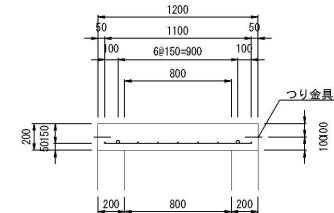


Ds-U^(GL2)-a-b

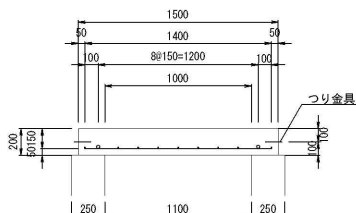


コンクリート蓋

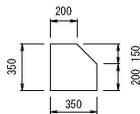
RCV-0.80-0.80



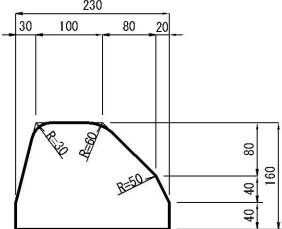
RCV-1.10-0.60



基礎コンクリート



As-C S=1:8



コンクリート構造物取壊し(タイプB)数量表

区分	種別	単位数量	延長・個数	取壊し数量	摘要
		コンクリート 10m(箇所)あたり			
昼	Ds-RG-0.50-0.10	0.86	263.14	22.63	
	Dc-S-As(A)	0.19	10	1.90	
	Dc-S-St(A)	0.18	1	0.18	
	Dc-M-RG	0.19	5	0.95	
	コンクリートシール	0.39	476.25	18.53	
	計	1.11	4.0	0.44	
夜	Ds-RG-0.50-0.10	0.86	137.50	11.83	
	Ds-RG-0.70-0.15	1.52	203.00	30.86	
	Dc-S-St(A)	0.18	1	0.18	
	Dc-S-St(SW)-φ0.30	0.33	2	0.66	
	Dc-S-St(SW)-φ0.40	0.37	1	0.37	
	Dc-PuL(SW)(F)	0.68	2	1.36	
	Dc-M-RG(SW)	0.42	4	1.68	
	As-C(F)	0.28	211.00	5.91	
	コンクリートシール	0.39	383.90	14.97	
	計			67.8	
昼夜	Ds-RG-0.70-0.15	1.52	76.3	11.60	
	Dc-S-As(A)	0.38	1	0.38	
	Dc-S-St(A)	0.19	1	0.19	
	Dc-S-St(SW)-φ0.40	0.37	1	0.37	
	Dc-M-RG(SW)	0.42	1	0.42	
	Dc-S-1.00-1.00-2.00基礎	0.26	1	0.26	
	Dc-S-1.00-1.00-2.00	0.57	1	0.57	
	コンクリートシール	0.39	38.45	1.50	
	計			15.6	

コンクリート構造物取壊し(タイプA)数量表

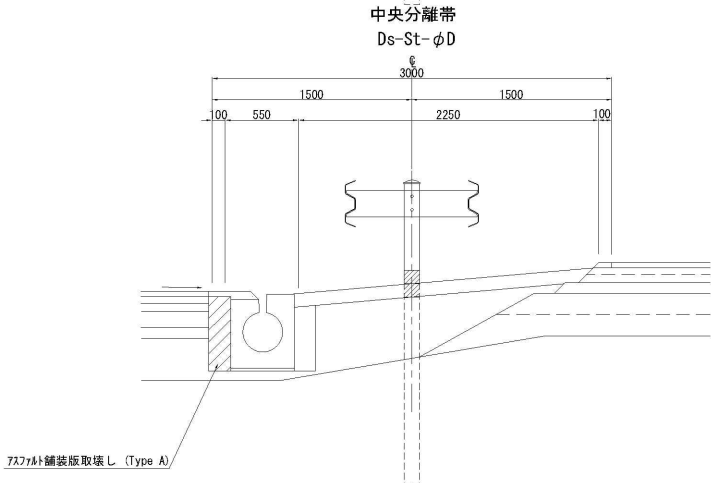
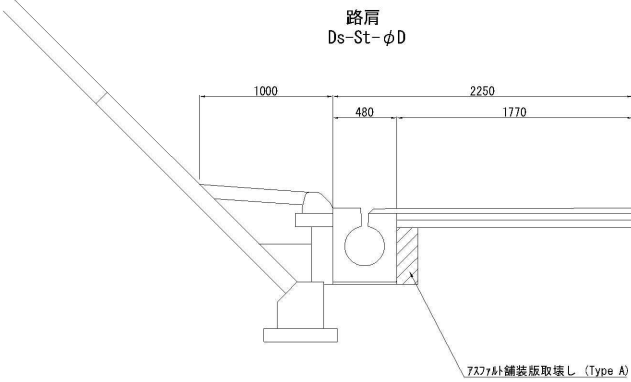
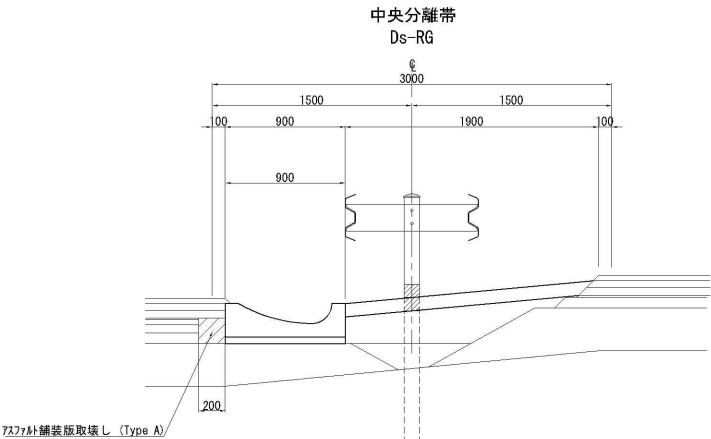
区分	種別	単位数量	延長・個数	取壊し数量	摘要
		コンクリート 10m(箇所)あたり			
夜	Ds-PuL-0.30-0.30	0.45	65.00	2.93	
	Ds-U^(GL2)-0.30-0.30~0.62	2.38	82.20	19.56	
	Ds-U^(GL2)-0.45-0.45	2.58	19.00	4.90	
	Ds-PSt-φ0.30	2.24	111.75	25.03	
	RCV-0.80-0.80	0.29	9	2.61	
	RCV-1.10-0.60	0.30	1	0.30	
昼夜	Ds-PuL-0.30-0.30	0.45	42.20	1.90	
	Ds-U^(GL2)-0.30-0.30~0.32	1.53	5.80	1.12	
	Ds-PSt-φ0.30	2.24	38.45	8.61	
	Ds-PSt-φ0.40	3.14	65.73	20.64	
	RCV-0.80-0.80	0.29	1	0.29	
	P(H)-1-φ0.90(Sd-B)	2.3	57.4	13.20	
	計			45.8	

アスファルト舗装版取壊し(タイプA)数量表

区分	種別	単位数量	延長・個数	取壊し数量	摘要
		アスファルト 10mあたり			
昼	As-C	0.30	455.38	13.66	
夜	As-C	0.30	446.43	13.39	
昼夜	As-C	0.30	432.86	12.99	





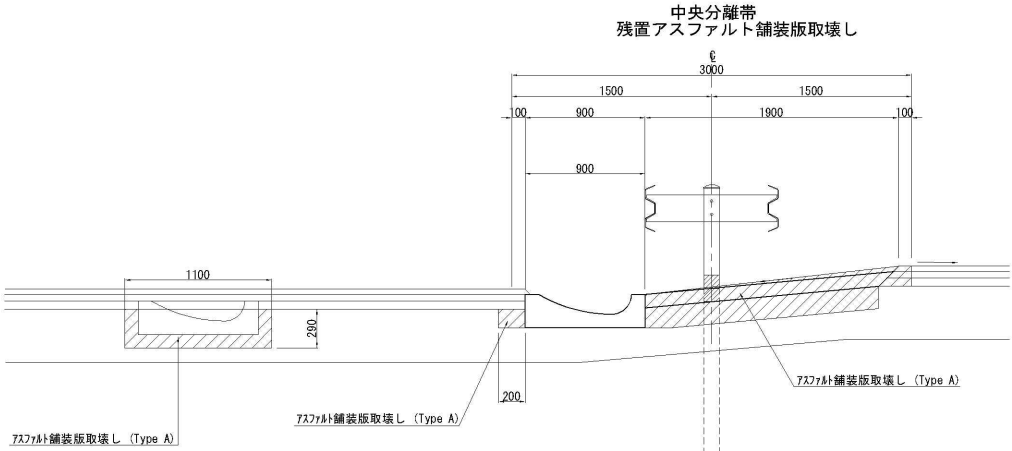


アスファルト舗装版取壊し (TypeA) 数量表

測点	施工区分	体積 m3	摘要
STA. 31 + 00.00 ~ STA. 32 + 37.00	上り線 夜間	7.00	
STA. 33 + 0.00 ~ STA. 33 + 60.00	昼夜間	14.00	
STA. 42 + 85.00 ~ STA. 44 + 30.00	夜間	10.60	
合計		31.60	

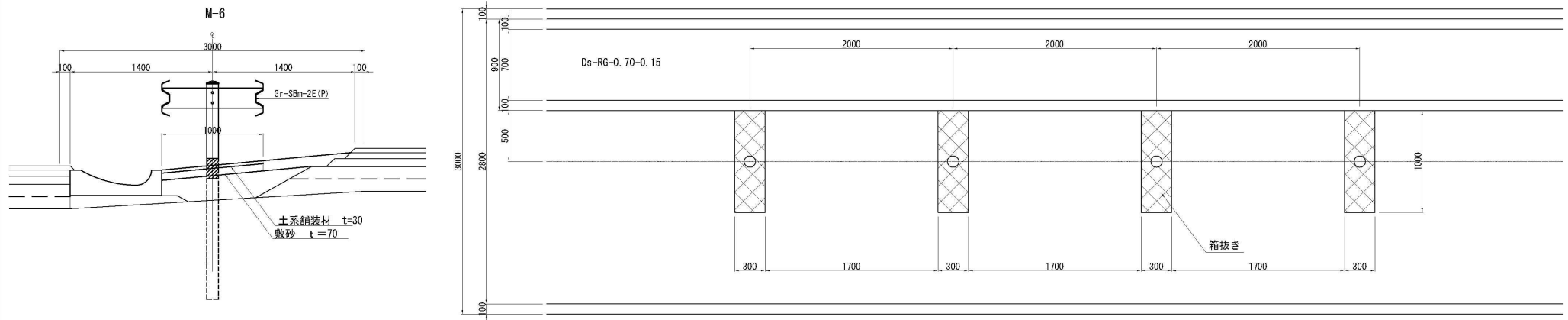
アスファルト舗装版取壊し (TypeA) 数量表

測点	施工区分	体積 m3	摘要
STA. 33 + 0.00 ~ STA. 33 + 80.00	下り線 夜間	23.90	
STA. 33 + 60.00 ~ STA. 34 + 20.00	夜間	6.20	
STA. 34 + 70.00 ~ STA. 36 + 77.30	昼間	7.70	
STA. 41 + 8.70 ~ STA. 41 + 40.00	昼間	1.00	
STA. 42 + 40.00 ~ STA. 43 + 20.00	夜間	26.00	
STA. 42 + 40.00 ~ STA. 43 + 40.00	夜間	22.30	
合計		87.10	



東武東上線 R 7 成田線工事			
図面の種類	構造物等取壊し工詳細図（3）		
縮尺	S=1:40	図面番号	
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		





防草対策B数量表

測 点	箇所数	摘 要
STA. 36+67.20 ~ STA. 36+79.80	12	TJ部のため12箇所
STA. 41+8.70 ~ STA. 41+21.30	12	TJ部のため12箇所
合 計	24	

防草対策B（夜）数量表

測 点	箇所数	摘 要
STA. 31+60.00 ~ STA. 35+50.00	196	$390 \div 2 + 1 = 196$
STA. 36+00.00 ~ STA. 36+67.20	35	$67.2 \div 2 + 1 = 34.6$
STA. 41+21.30 ~ STA. 41+45.00	13	$23.7 \div 2 + 1 = 12.85$
STA. 41+95.00 ~ STA. 44+30.00	119	$235 \div 2 + 1 = 118.5$
合 計	363	

材 料 表

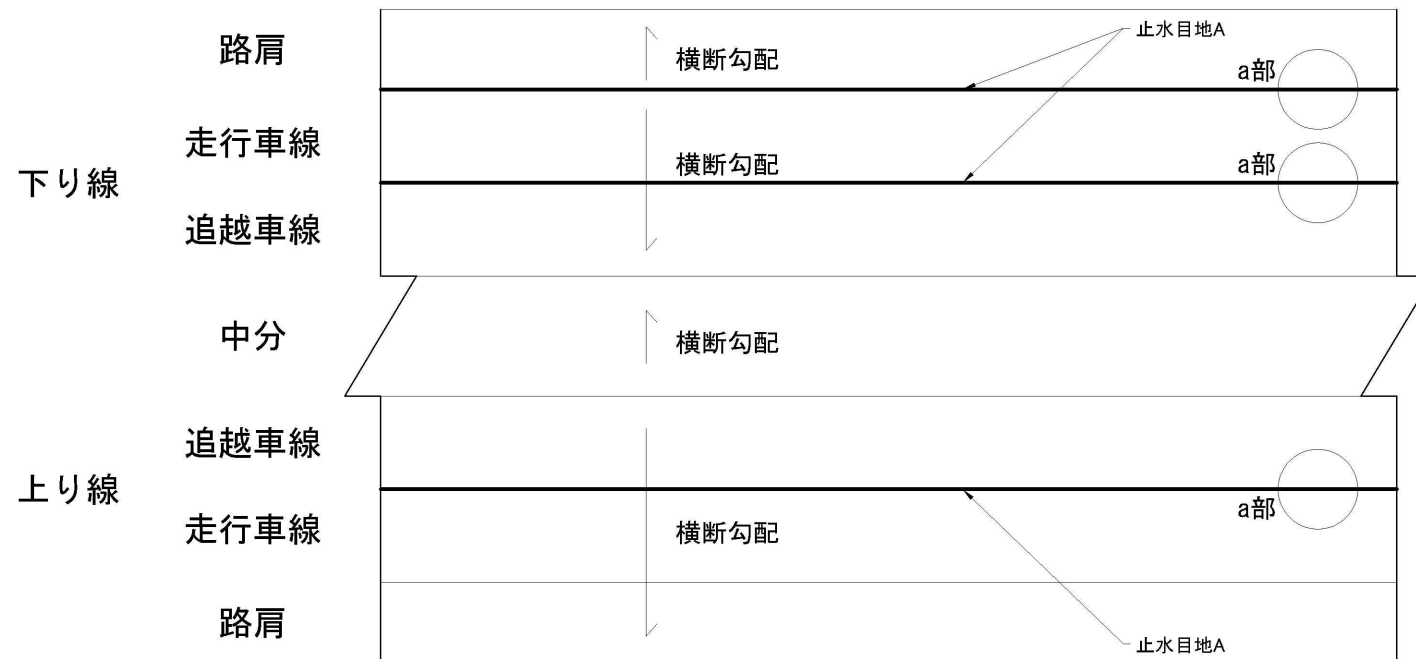
1 箇所当り

種 別	規格・寸法	単位	数 量	摘 要
土系舗装材	t=30	m <sup>2</sup>	0.29	$0.30 \times 1.00 - 0.057^2 \pi = 0.29$
敷砂(現地発生土)	t=70	m <sup>3</sup>	0.02	$0.29 \times 0.07 = 0.02$
型枠	D	m <sup>3</sup>	0.26	$(0.30 + 0.30 + 1.00 + 1.00) \times 0.1 = 0.26$

東関東自動車道 R 7 原田橋梁工事			
図面の種類	防草対策B詳細図		
縮 尺	S=1:40	図面番号	
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 干 葉 管 理 事 務 所		

# 止水目地工詳細図

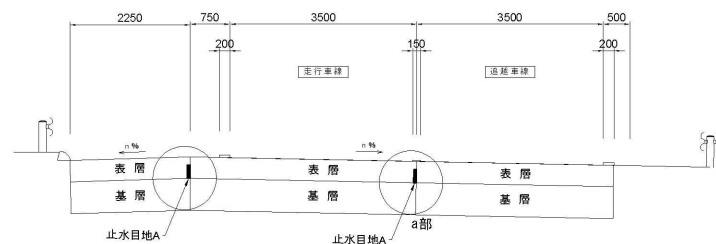
平面図 S=1 : 200



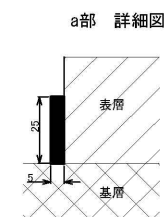
## 土工部

※止水目地A=縦施工目地（施工打継ぎ目）に施工

止水目地A参考図 S=1:100



止水目地A設置詳細図 S=1 : 20



## 材 料 表

項 目	規格・寸法	単位	数 量	備 考
止水目地A	H=25mm t=5mm	m	10	止水目地材

10mあたり

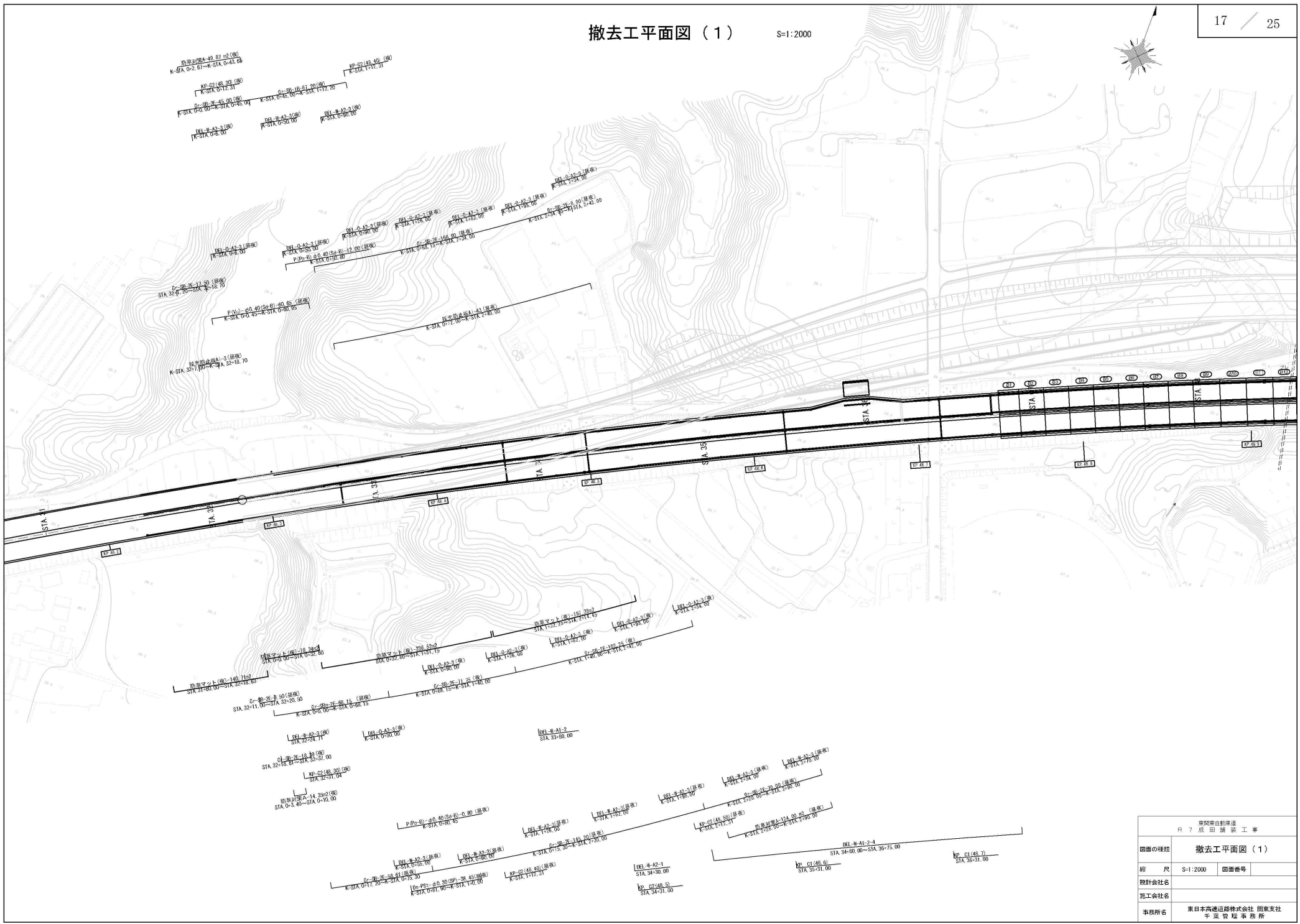
東関東自動車道 R7 成田橋換工事			
図面の種類	止水目地工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		



撤去工平面図 (1)

S=1:2000

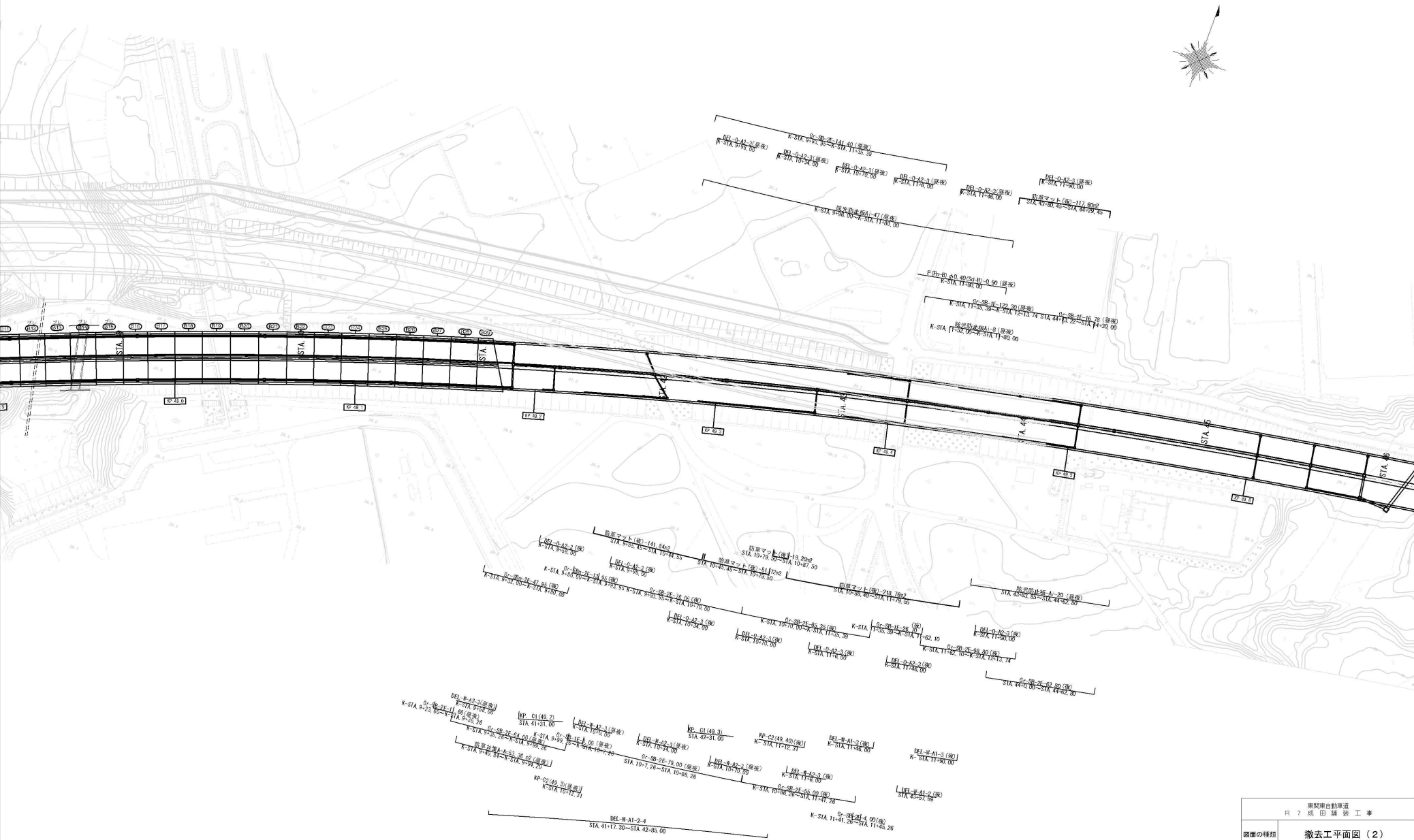
17 / 25



東武東上線 撤去工	
R 7 原田 撤去工	
図面の種類	撤去工平面図 (1)
縮尺	S=1:2000
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉支店 事務所

撤去工平面図 (2)

S=1:2000



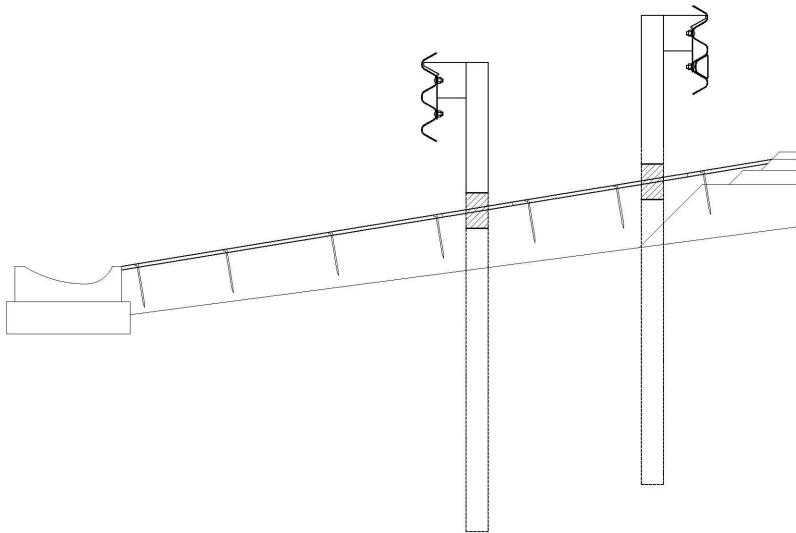
東武東上線 R7 原田橋梁工事	
図面の種類	撤去工平面図 (2)
縮尺	S=1:2000
図面番号	
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所



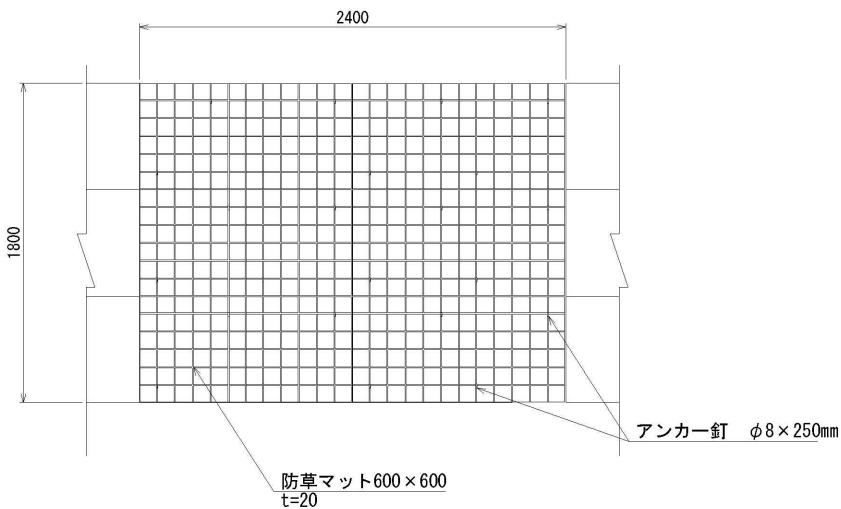
撤去工詳細図

防草マット

標準断面図 縮尺 1 : 30



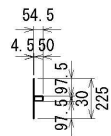
平面図 縮尺 1 : 30



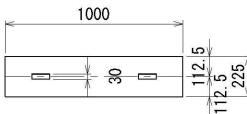
材料表		100㎡当り			
項 目	規格・寸法	単位	数 量	摘 要	
防草マット	600×600×20	枚	280.00		
アンカー釘	φ8×250mm	本	560.00		

Ds-St-φ0.30 (SP) S=1:30

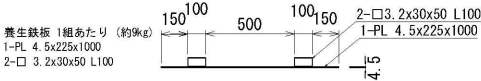
側面図



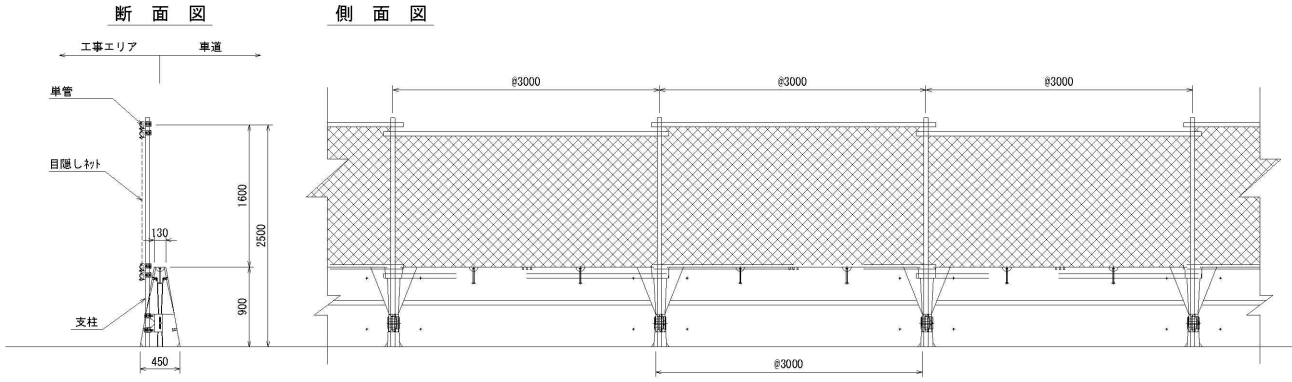
平面図



正面図

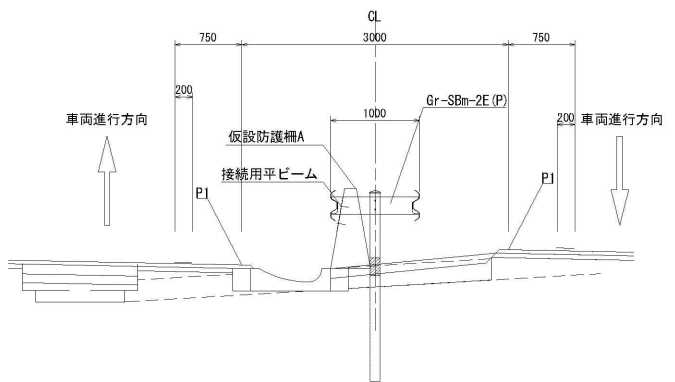


東関東自動車道 R7 成田調養工事			
図面の種類	撤去工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

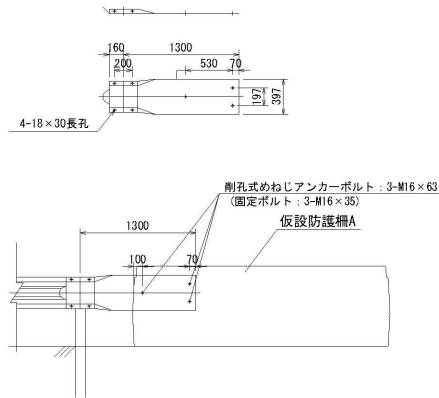


仮設防護柵A 材料表		(100m当たり)			
種別	規格・寸法	数量	単位	備考	
仮設防護柵	F130×H900×W450×L3000	33.3	個	1.820kg/個 SB種相当	
支柱単管	φ48.6、L=2.5m	35	本		
支柱取付金物	特殊ねじ後付け単クラブ	70	個	1=加めつき	
目隠しネット	綱糸引張強度270N以上/本 充塞率 35%以下	160	m <sup>2</sup>	H=1.6m	
ネット設置用水平材	φ48.6、L=3.0m	68	本		
	直交クラブ φ48.6	140	組	1=加めつき	

端部すり付け図



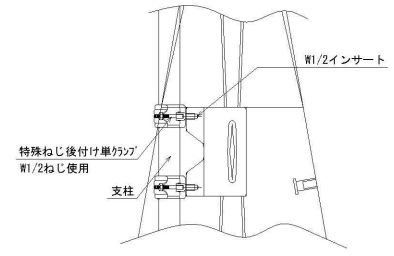
仮設防護柵B  
接続用平袖ビーム



仮設防護柵B 材料表		1箇所当たり			
種別	規格・寸法	単位	数量	摘要	
SBm-TJ	L=1300	箇所	1		
アンカーボルト	16×63	箇所	3		

仮設防護柵 数量表 (リース契約引継ぎ)					
種別	単位	数量	摘要		
仮設防護柵	m	390	※		

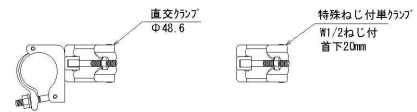
支柱取付部詳細図



支柱取付金物詳細図

S=1/3

直交クラブ 特殊ねじ後付け単クラブ



※リース契約は工事完了後に成田空港空港へ引き継ぐものとする

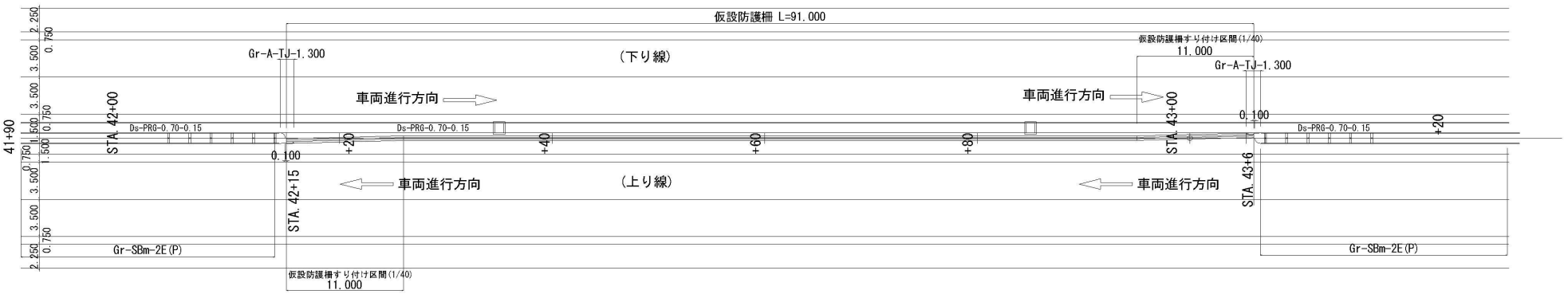
東関東自動車道 R7 成田 橋梁 工事			
図面の種類	仮設防護柵一般図（1）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	計図エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		



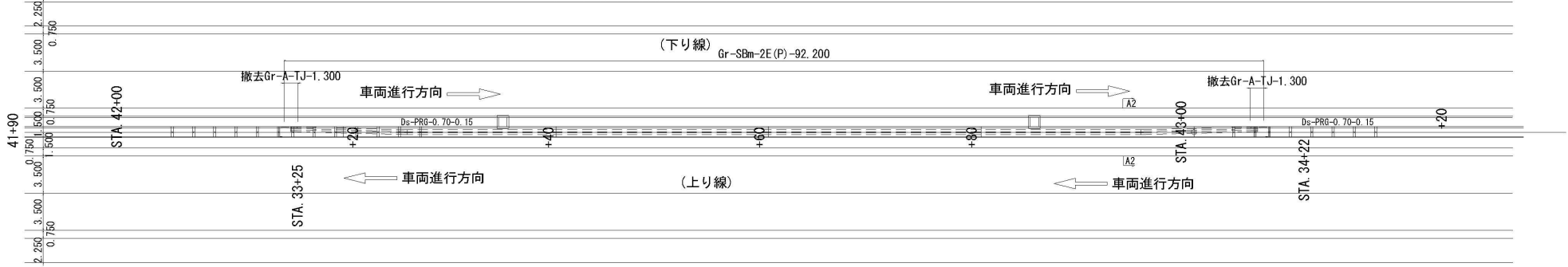
仮設防護柵一般図（3）

終点側平面図 S=1:200

中分仮設防護柵接続図①

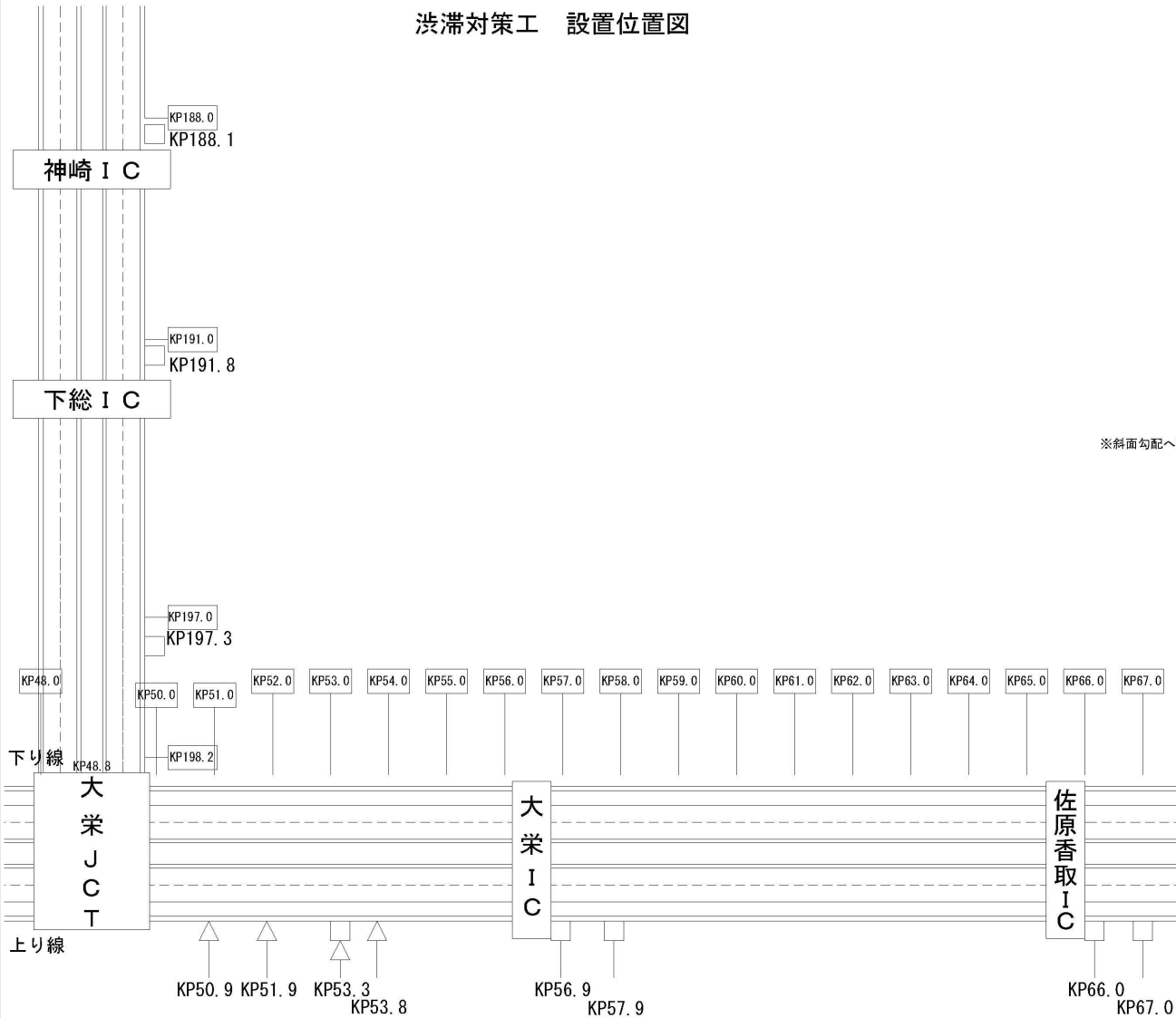


中分仮設防護柵接続図②

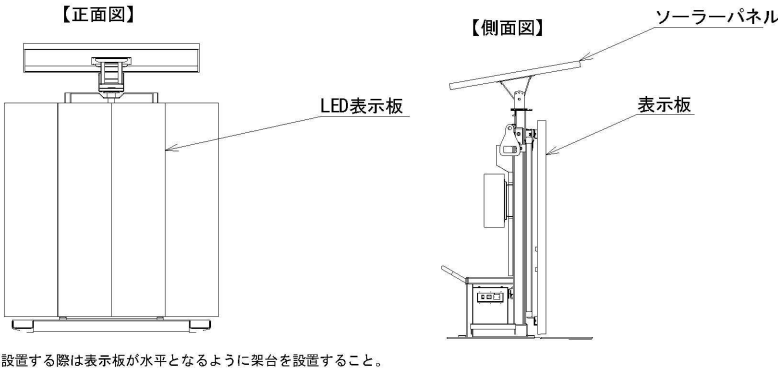


東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			
R 7 成田線 築港工事			
図面の種類	仮設防護柵一般図（3）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

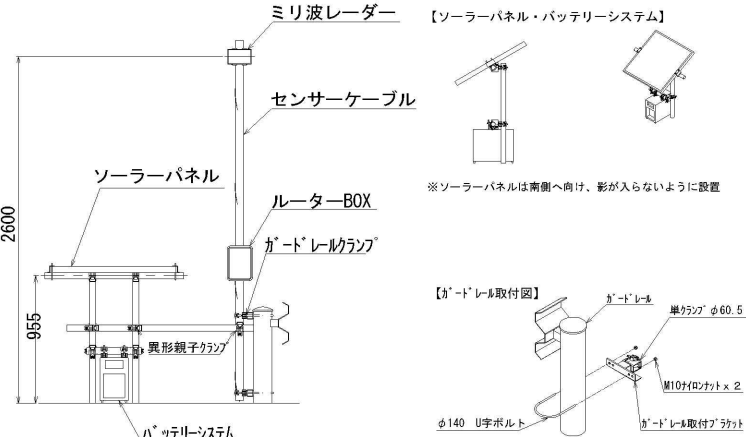
渋滞対策工 設置位置図



渋滞対策工 A  
(参考図)



渋滞対策工 B  
(参考図)



渋滞対策工 数量表

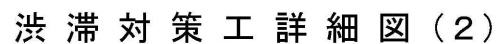
項目	単位	数量
渋滞対策工 A (設置・撤去)	箇所	8
渋滞対策工 B (設置・撤去)	箇所	4
渋滞対策工 A (供用)	台・日	512
渋滞対策工 B (供用)	台・日	256

凡 例

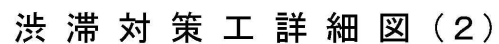
記号	項目	名称
□	渋滞対策工 A	ソーラー式カラーLED表示板
△	渋滞対策工 B	交通量計測装置

東関東自動車道 R7 原田橋梁工事	
図面の種類	渋滞対策工詳細図(1)
総 尺	— 図面番号
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所

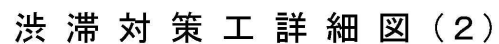
### 渋滞対策工詳細図(2)



### 渋滞対策工詳細図(2)



### 渋滞対策工詳細図(2)



### 渋滞対策工詳細図(2)

### 渋滞対策工詳細図(2)

## 渋滞対策工詳細図(2)

## 渋滞対策工詳細図(2)

## 渋滞対策工詳細図(2)

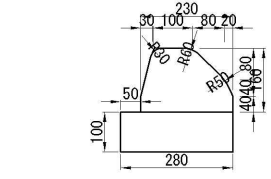
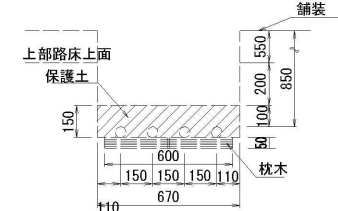
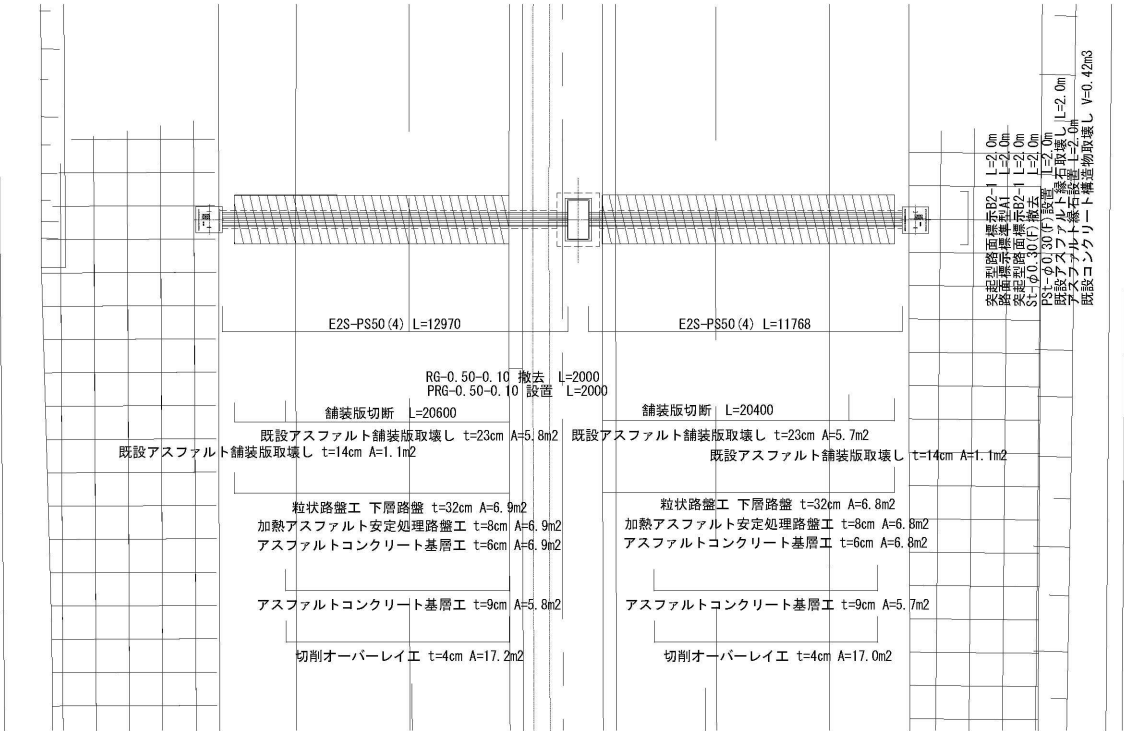
横断工 A 一般図

平面図  
KP48.017 (STA. 29+48.157) S=1:200

配管図 S=1:N アスファルト縁石 S=1:N

既設コンクリート構造物取壊し V=0.42m3  
アスファルト縁石設置 L=2.0m  
既設アスファルト縁石取壊し L=2.0m  
PS-t-φ0.30(F)設置 L=2.0m  
PS-t-φ0.30(F)撤去 L=2.0m  
突起型路面標示B2-1 L=2.0m  
突起型路面標示A1 L=2.0m  
突起型路面標示B2-1 L=2.0m

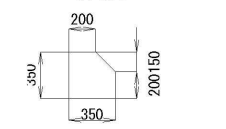
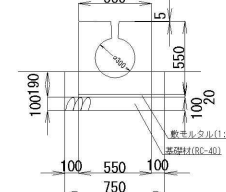
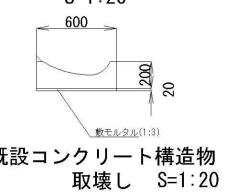
既設コンクリート構造物取壊し V=0.42m3  
アスファルト縁石設置 L=2.0m  
既設アスファルト縁石取壊し L=2.0m  
PS-t-φ0.30(F)設置 L=2.0m  
PS-t-φ0.30(F)撤去 L=2.0m  
突起型路面標示B2-1 L=2.0m  
突起型路面標示A1 L=2.0m  
突起型路面標示B2-1 L=2.0m



材料表 (1m当り)

配管種別	塩 剤	保護土	埋 戻 し	残土処理	枕 木	備 考
E2S-PS50 (4)	0.265	0.093	0.134	0.013	0.000	

PRG-0.50-0.10 設置 S=1:20 PSt-φ0.30 (F) 設置 S=1:20



材料表 (10.0m当り)

項目・種別	規格・寸法	単位	数量	備 考
基礎コンクリート	無筋	m <sup>3</sup>	1.11	
コンクリートシール	無筋	m <sup>2</sup>	0.728	
アスファルト縁石	無筋	m <sup>2</sup>	0.28	

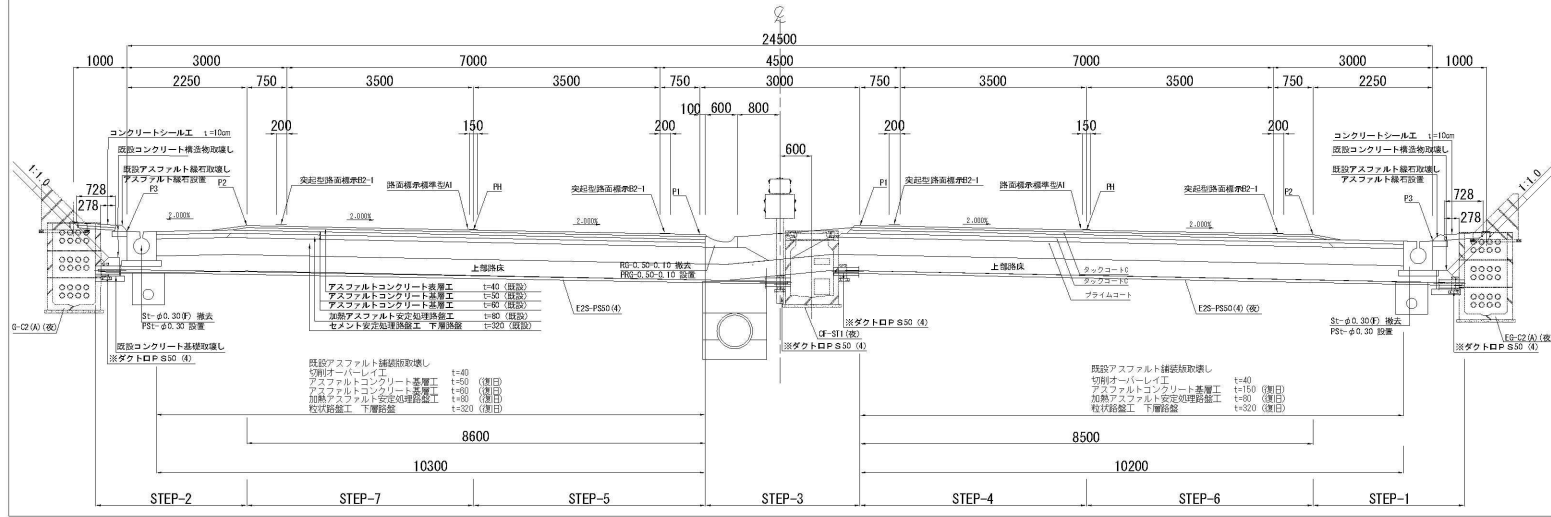
材料表 (10m当り)

項目	透水性	数値	透水性	透水性
De-PRG-0.50-0.10	-	0.12	5	透水係数 400u/層
De-PS-t-φ0.30 (F)	0.75	0.11	5	透水係数 100u/層

材料表 (24.7m当り)

項目	単位	数量	備 考
構造物部材	m <sup>3</sup>	1.13	
埋 戻 し	m <sup>3</sup>	1.26	
舗装版切断	m	41.0	
既設アスファルト舗装版取壊し t=23cm	m <sup>2</sup>	11.5	
既設アスファルト舗装版取壊し t=14cm	m <sup>2</sup>	2.2	
RG-0.50-0.10 撤去	m	2.0	
St-φ0.30(F)撤去	m	4.0	
既設アスファルト縁石取壊し	m	4.0	
既設コンクリート構造物取壊し	m <sup>3</sup>	0.84	
E2S-PS50(4)	m	24.7	
PRG-0.50-0.10 設置	m	2.0	
PSt-φ0.30(F) 設置	m	4.0	
粒状路盤工 下層路盤 t=32cm	m <sup>2</sup>	13.7	
加熱アスファルト安定処理路盤工 t=8cm	m <sup>2</sup>	13.7	
アスファルトコンクリート基層工 t=6cm	m <sup>2</sup>	13.7	
アスファルトコンクリート基層工 t=9cm	m <sup>2</sup>	11.5	
切削オーバーレイ t=4cm	m <sup>2</sup>	34.2	別日施工
コンクリートシール工 t=10cm	m	2.0	ハンドホール控除含む
アスファルト縁石設置	m <sup>2</sup>	4.0	
路面標示標準型A1	m	4.0	
突起型路面標示B2-1	m	8.0	

断面図 KP48.017 (STA. 29+48.157) S=1:100



材料表 (24.7m当り)

項目	単位	数量	備 考
構造物部材	m <sup>3</sup>	1.13	
埋 戻 し	m <sup>3</sup>	1.26	
舗装版切断	m	41.0	
既設アスファルト舗装版取壊し t=23cm	m <sup>2</sup>	11.5	
既設アスファルト舗装版取壊し t=14cm	m <sup>2</sup>	2.2	
RG-0.50-0.10 撤去	m	2.0	
St-φ0.30(F)撤去	m	4.0	
既設アスファルト縁石取壊し	m	4.0	
既設コンクリート構造物取壊し	m <sup>3</sup>	0.84	
E2S-PS50(4)	m	24.7	
PRG-0.50-0.10 設置	m	2.0	
PSt-φ0.30(F) 設置	m	4.0	
粒状路盤工 下層路盤 t=32cm	m <sup>2</sup>	13.7	
加熱アスファルト安定処理路盤工 t=8cm	m <sup>2</sup>	13.7	
アスファルトコンクリート基層工 t=6cm	m <sup>2</sup>	13.7	
アスファルトコンクリート基層工 t=9cm	m <sup>2</sup>	11.5	
切削オーバーレイ t=4cm	m <sup>2</sup>	34.2	別日施工
コンクリートシール工 t=10cm	m	2.0	ハンドホール控除含む
アスファルト縁石設置	m <sup>2</sup>	4.0	
路面標示標準型A1	m	4.0	
突起型路面標示B2-1	m	8.0	

東 京 東 自 動 車 道  
R 7 成 田 橋 梁 工 事

図面の種類	横断工 A 一般図
縮 尺	図 示
図面番号	
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉 管 理 事 務 所